



創立149年

石積っ子

教育目標 **さいごまでやりぬく子 からだをきたえる子 もとめて学び子 とを大切にす子**

坂本小だより 令和5年 6月号

児童数592名 (24クラス)

坂本小HP <http://www.otsu.ed.jp/skmt/>

校長 上島 憲一

ぼっちキャンプに出かけてみた ~どちらがしあわせ?どちらが楽しい?~

前もって計画したり予約したりすることができない我が家では、旅行とかお出かけというより、宿も取らずに車に最大限の荷物を積み込んで急に出かける非日常的な旅が定番でした。当時は特にアウトドアが好きというわけではなかったと思うのですが、気づけば道具を買いそろえて不自由な空間で何不自由のないファミリーキャンプを楽しむようになっていました。3人の子どもたちも当時は高級なホテルに泊まるという世間の“旅行”も知らずに、そんな“非日常の旅”をあたりまえのように楽しんで(?)いました。もちろん、暴風吹き荒れる嵐の中でテントやタープが飛ばされないように必死でロープを引っ張って凌いだ出来事も、過ぎ去れば子どもたちにとっての貴重な思い出になっています。そんな家族もいつしか子どもたちが子どもではなく、やがて大人になって家を離れ、我が家のキャンプも思い出話だけになっていました。

かくして我が家のキャンプは終わったのですが、私自身のキャンプが終わったわけではなく、近年は流行りのソロキャンプをやってみたくて、いろいろ道具を物色したり、見よう見まねでたき火テーブルやロケットストーブなどを作ったりしながらぼちぼちと準備を進めています。残念ながらなかなか機会を重ねることができないので、もっぱら『ヒロシのぼっちキャンプ』という番組を観て満足するにとどまっているのが現実です。そんな時に先日の某新聞の記事で「ソログルキャン」という聞き慣れぬ言葉を見つけました。

記事によると、キャンプを初めて1年以内の初心者の割合が2018年に17%だったが2021年には24%に増え、またこの間に「ソロ」の割合は5%から13%に増加したとのこと。ファミリーキャンプやグループキャンプで楽しくわいわいやるのではなく、ひっそり静かにやるソロキャンプが人気を集めているということです。でも、このところソロキャンプも形を変えてソロをグループで行う「ソログルキャン」を楽しむ人が増えてきているらしい。その様子は、知り合いのようなソロキャンパーが集まって、声をかけるわけでも手伝うわけでもなく、基本的には互いに干渉しないでそれぞれが自由に過ごしているかと思えば、誰かが新しく買ったテントをみんなで見学したり、気が向いたときにキャンプ道具の話をし合ったりする場面もあるのだという。まさに一人と仲間のいいところ取りで、他人との絶妙な距離感を持つキャンプが「ソログルキャン」らしいのです。

社会生活の変化により、親戚付き合いや近所付き合いが薄れてきている上に、コロナ禍による生活様式で、一人で行動することに抵抗がなくなり一人で焼き肉を食べに行く一人焼肉などの「一人〇〇」が増えてきているのが現実です。別の調査では「人付き合いは面倒くさい」と考える人の割合が1998年の23%から2022年には34%に増えているといえます。人々は直接的な人付き合いが面倒になり、必要な時だけSNS等でつながる関係を心地よく感じてきているのでしょうか。気が向いた時、必要な時にだけ一緒に過ごすソログルキャンの流行もその表れなのでしょうか。そんな風になっていくのかと、ちょっと考えさせられます。

因みに私は一度だけソロキャンプをしました。焚き火の前で、ちょっと贅沢にステーキ肉を焼いて、付け合わせにポテトやサラダ、チーズまで用意して、いつもより高いビールを片手に「ぼっちキャンプ」を気取ってみました。おしゃれな夕飯を「おいしいなあ」と、一緒に相づちを打ってくれる相手はいませんでした。それ以来一度もぼっちキャンプはやっていません。一人の気楽さより煩わしくても面倒でも誰かとつながることを求めているのでしょうか。

お知らせ I (水遊び・浮く・泳ぐ・水泳)

〈プールでの学習〉 今年コロナ明け、本格的に始まります

コロナの影響を受けた学習はたくさんありますが、中でも最も大きな影響があった学習の1つが水泳(水遊び)の学習です。施設の関係で夏の間の期間限定でしか実施できない学習である上に、マスクをつけられない、会話はなくても息継ぎ等で呼吸を吐き出すなどの理由で全く実施できない年や大幅に人数制限して数時間しか入れない年が続きました。

そんな不完全な状況もようやく今年度は解消され、通常の学習に戻ってきます。万が一の水難事故の際に命を守ることににつながる水泳(水遊び)の学習ですから、子どもたちにもしっかりと学んでほしいと思っています。各学年に応じた目標はありますが、数年間十分に学びが積み上がっていないことも事実です。一人ひとりの力に合わせた柔軟な目標設定をしながら学習を進めます。ご家庭でも健康管理や準備とともに、事前にお風呂や洗面所でシャワーを使って水への抵抗を少なくするトレーニングを行っておく等、学習効果が上がるようにしておいていただくとありがたいです。

以下は、家庭でできるシャワーを使って水に慣れさせるトレーニング例です。①から順に徐々にやってみてください。

- ①立った状態で足元を見るようにして浴びる⇒水が目にかからない⇒ゆっくり呼吸をして長く浴びる
- ②少し顔を上げて浴びながら小さく口を開けて息を吸い鼻から息を吐く⇒水を顔面に直接受けて息を吸う
- ③口を大きく開けてシャワーを口で受け止めたあと小さく口をすぼめて水を吐き出す

<6月、7月の主な学校行事(6/1 現在)> 変更になることもあります。

<5月の様子>

<交通安全教室>

いつもは登校班の上級生に連れられることが多い1年生ですが、今日はグループに分かれて自分たちの力だけで通学路を歩きました。多くのスクールガードさんやPTA役員の方、大津警察の方にも参加していただきました。毎日の見守りがある中で、安全に学校に来ることができています。いつもありがとうございます。



<リレー大会>

好天に恵まれ、練習の成果を発揮することができました。当日までの熱心な取組に感謝していたので、結果には一喜一憂しませんでした。



<大津市陸上記録会>

市内各校の6年生代表が皇子山陸上競技場に集い、自己の記録に挑戦します。他校の友だちから良い刺激を受けて自校に戻って感じ取ったことを広げます。本校の良さは一生懸命競技に取り組むことはもちろんですが、開閉会式や応援の態度です。



<引き渡し訓練>

自然災害や事件発生時の緊急対応に備えて保護者への引き渡しをスムーズにするための訓練です。毎年1年生対象に実施しています。



お知らせⅡ (創立150周年記念事業 第1弾!)

学校と保護者、地域が同じ場で!同じ思いで!!

予てからお伝えしていますように今年度3月には本校創立150周年の記念日を迎えます。盛大なイベントを開催することは考えていませんが、コロナ禍で中断していた地域の学校として役割を「150周年」を合言葉に少しずつ再開し、学校とPTA、地域がともに子どもを育てる姿を感じられたらと思っています。その記念事業の1つとして空撮による人文字撮影を以下の日程で計画しています。

実はその場に全校児童だけでなくPTAや日頃から大変お世話になっている地域の方々も一緒に参加していただけたら子どもたちにとっても思い出に残る良い場面になるのではと考えています。大変お忙しいとは思いますが、ご都合がつく方は期日に本校グラウンドにお集まりいただければうれしく思います。

----- キ ----- リ ----- ト ----- リ -----